



本剤は、バイアルの規格によって溶解に必要な **注射用水** の量が異なります。

- 45mgバイアルの場合：**注射用水1.0mL**で溶解してください。
 - 60mgバイアルの場合：**注射用水1.3mL**で溶解してください。
- いずれのバイアルも最終濃度は**50mg/mL**となります。

エアワイン®の用法及び用量

通常、成人にはソタテルセプト(遺伝子組換え)として初回に0.3mg/kgを投与し、2回目以降は0.7mg/kgに增量し、3週間ごとに皮下投与する。

体重別の初回用量・維持用量における投与量は、以下の体重別投与量早見表をご覧ください。

体重別投与量早見表

■ 0.3mg/kg(初回用量)

体重(kg)	投与量(mL)	標準分量バイアル
30.0～40.8	0.2	45mg
40.9～57.4	0.3	
57.5～74.1	0.4	
74.2～90.8	0.5	
90.9～107.4	0.6	
107.5～124.1	0.7	
124.2～140.8	0.8	
140.9～157.4	0.9	
157.5～174.1	1.0	
174.2～180.0	1.1	

■ 0.7mg/kg(維持用量)

体重(kg)	投与量(mL)	標準分量バイアル
30.0～31.7	0.4	45mg
31.8～38.9	0.5	
39.0～46.0	0.6	
46.1～53.2	0.7	
53.3～60.3	0.8	
60.4～67.4	0.9	
67.5～74.6	1.0	
74.7～81.7	1.1	
81.8～88.9	1.2	
89.0～96.0	1.3	
96.1～103.2	1.4	60mg
103.3～110.3	1.5	
110.4～117.4	1.6	
117.5～124.6	1.7	
124.7～131.7	1.8	
131.8～138.9	1.9	
139.0～146.0	2.0	
146.1～153.2	2.1	
153.3～160.3	2.2	
160.4～167.4	2.3	
167.5以上	2.4	



実寸大

アクチビングシグナル伝達阻害剤



薬価基準収載

エアワイン 皮下注用45mg
皮下注用60mg

ソタテルセプト(遺伝子組換え)製剤

AIRWIN®

生物由来製品 効薬 処方箋医薬品 (注意一医師等の処方箋により使用すること)

2. 禁忌(次の患者には投与しないこと)

- 2.1 本剤の成分に対し過敏症の既往歴のある患者
- 2.2 本剤の投与開始前の血小板数が50,000/mm³未満の患者[9.1.2参照]

本剤の「効能又は効果、注意事項等情報」等については
電子添文を参照ください▶

0114987185810958



2025年10月作成
WIN25PH0176



本剤は、バイアルの規格によって溶解に必要な **注射用水** の量が異なります。

- 45mg/バイアルの場合：**注射用水1.0mL**で溶解してください。
- 60mg/バイアルの場合：**注射用水1.3mL**で溶解してください。

いずれのバイアルも最終濃度は50mg/mLとなります。

ご用意いただくもの

バイアルの必要数・投与量については裏面の **体重別投与量早見表** をご覧ください。

シリンジ 注射針 エアワイン[®]のバイアル **注射用水** アルコール綿

シリンジと注射針は必要に応じて
調製用と投与用をご準備ください。

調製前の注意事項

- ・投与の約15分前に冷蔵庫から取り出し、室温に戻してから調製してください。
- ・調製前に右の事項を確認し、異常が認められる場合は使用しないでください。

有効期限内である

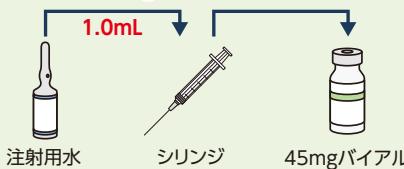
白色の塊または粉末である

調製方法

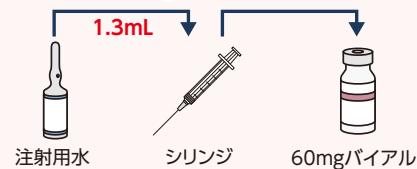
01 バイアルのキャップを外し、ゴム栓表面をアルコール綿で清拭します。

02 注射用水で本剤を溶解します。いずれのバイアルも最終濃度は50mg/mLとなります*。

45mg/バイアルの場合



60mg/バイアルの場合



* 本剤は、調製時の損失を考慮し、1バイアルからソタテルセプトをそれぞれ45mg又は60mgを注射するに足る量を確保するために過量充填されています。

03 緩やかに渦を描くようにバイアルを回して本剤を溶解します。
強く振ったり攪拌したりしないでください。

04 大きな気泡が消失するまでバイアルを最大3分間放置します。
バイアルの縁の周りに発生した小さな気泡は問題ありません。

05 溶解後の液について、下記を目視で確認してください。

- 大きな気泡がない
- 澄明または乳白光、無色またはわずかに褐色がかかった黄色である
- 塊や粉末がない

06 2本のバイアルが処方されている場合は、**01～05**の手順を繰り返し、2本目のバイアルも調製してください。

07 溶解後は速やかに使用してください。
すぐに使用できない場合は室温で保管し、**4時間以上経過したものは廃棄**してください。

投与方法

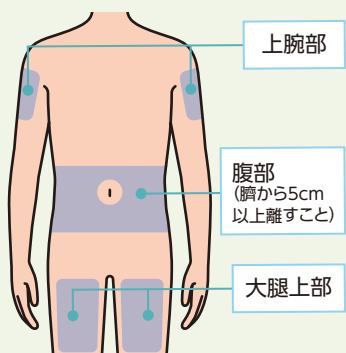
01 0.1mL目盛りのシリンジを用いて、1本または2本のバイアルから適切な投与量の薬剤を吸引します。

02 投与部位を選択します。

瘢痕、圧痛または挫傷のある部位を避けます。
投与ごとに注射部位を変更してください。

03 アルコール綿で投与部位を清拭後、皮下注射を実施します。

投与部位



投与後の注意点

- 患者さんに、投与部位を圧迫したりもんだりしないようにご指導ください。
- 投与部位の痛みや体に異常を感じた場合は、すぐに主治医や看護師、薬剤師に相談するよう、ご指導ください。